森林講座瓦版

柳田 高志 *Yanagida Takashi*
木材加工・特性研究領域

木質バイオマス発電は儲かるのか？

近年、再生可能で、なおかつカーボンニュートラルという利点を持つ木質バイオマスを、電気などのエネルギーに変換・利用する再生可能電力に期待が高まっています。しかし、そこで最大の課題となっているのがコストです。

日本では、この再生可能電力のコスト問題に対して、電気を利用している利用者が賦課金という形で経済的に支える仕組み「固定価格買取制度」が２０１２年に導入されました。この制度を契機として、いま、木質バイオマス発電の導入が進んでいます。とはいえ、この制度を利用しても、木質バイオマス発電事業を成立させるのは簡単ではありません。

「燃料となる木質バイオマスをいくらで調達できるのか？」「装置の年間稼働時間はどの程度確保できるのか？」「発電時に副生する熱も利用・販売して利益を増やしたらどうなるのか？」など、事業に関わる問題点をひとつひとつ洗い出しながら細かく見ていくと、木質バイオマス発電事業が成り立つ条件がしだいに見えてきます。特に、小さな規模で発電事業をする場合は、利益を出せる条件は極めて限定的になります。

私たちはこれまで、木質バイオマス発電の事業採算性を評価できるツールを開発し（▼P. 17参照）、２０１５年から無償公開してきました。２０２２年４月には小規模な木質バイオマス発電に対応したツールの配布も開始しました。

これから木質バイオマス発電を導入検討されている方にこのツールを使っていただき、導き出した〝事業が成り立つ条件〟と、その〝事業を担保できる体制づくり〟について考えていただけると幸いです。

（２０１６年11月18日開催講座の内容に加筆）

ツールの活用が期待される場面の一例

令和４年度 森林講座のお知らせ

多摩森林科学園での実開催とYouTube「森林総研チャンネル」での動画公開を予定しております。動画公開分は遠方の方でもご覧になれますのでお楽しみに！

実開催

10月13日（木曜日）
「アロマでいっぱい森の土」
森下 智陽（東北支所）

11月11日（金曜日）
「生物のいないところにいる生物
－西之島の大規模噴火後の変化－」
川上 和人（野生動物研究領域）

12月2日（金曜日）
「捕まったクマはどんなクマ？
クマの体から分かること」
中下 留美子（野生動物研究領域）

動画公開

8月公開
「土砂災害を引き起こす
雨の降り方に隠された共通点」
經隆 悠（森林防災研究領域）

1月公開
「乾燥に強いスギをみきわめる」
高島 有哉（林木育種センター関西育種場）

2月公開
「未利用の森林資源は
見方によっては宝の山！！」
松井 直之（森林資源化学研究領域）

会場◉多摩森林科学園 森の科学館
時間◉13時15分～15時

お申込の受付は各講座開催日の前月の1日から。受付は先着順で、講座開催日の1週間前が締切となります。ご希望の講座名・郵便番号・住所・氏名・電話番号・参加希望者数をご記入の上、往復はがき、または電子メールでお申し込みください。お申込1通に対し、1講座3名までの受付とさせていただきます。
なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況によっては、講座を中止する場合があります。最新情報はホームページをご確認ください。

◆お問い合わせ
〒193-0843 東京都八王子市廿里町1833-81
多摩森林科学園
電話番号：042-661-1121
HP：https://www.ffpri.affrc.go.jp/tmk/index.html
E-mail：shinrinkouza@ffpri.affrc.go.jp

▲森林講座申込み

▼YouTube「森林総研チャンネル」
https://www.youtube.com/c/FFPRIchannel